



2023年2月10日

各 位

会社名 株式会社 サンゲツ
代表者名 代表取締役 安田正介
社長執行役員
(コード番号 8130 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 取締役執行役員 助川達夫
財務経理部長
(TEL. 052-564-3333)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年11月2日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|----------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 170,000 | 百万円 17,500 | 百万円 18,000 | 百万円 12,000 | 円 銭 204.56 |
| 今回修正予想(B) | 174,000 | 20,000 | 20,500 | 13,500 | 230.10 |
| 増減額(B-A) | 4,000 | 2,500 | 2,500 | 1,500 | — |
| 増減率(%) | 2.4 | 14.3 | 13.9 | 12.5 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 149,481 | 7,959 | 8,203 | 276 | 4.66 |

(2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、本日公表の「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、主力となるインテリアセグメントにおいて、2022年10月1日受注分より実施した第三次取引価格改定が浸透したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前回公表時の通期連結業績予想(2022年11月2日公表の予想数値)に対する計画を上回りました。

通期の連結業績予想に関しましては、更なる原材料価格の高騰やエネルギーコスト上昇等の不透明感が残るものの、前回公表時見込みより国内インテリアセグメントにおいて販売が堅調に推移していることから、上記のとおり上方修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

| | 1株あたり配当金 (円) | | |
|--------------------------|--------------|--------|---------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 (2022年11月2日公表) | 40円00銭 | 40円00銭 | 80円00銭 |
| 今回修正予想 | | 65円00銭 | 105円00銭 |
| 当期実績 | 40円00銭 | | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 35円00銭 | 35円00銭 | 70円00銭 |

(2) 修正の理由

当社は、中期経営計画(2020-2022)【D.C.2022】の資本政策に基づき、中長期的に持続可能な株主還元策として、2020年度より2022年度迄の3年間の総額で総還元性向を略100%とすることを基本方針としております。

上記の基本方針を踏まえ、今回の連結業績予想の修正を勘案した結果、前回発表予想より、期末配当予想につきまして25円増配の1株あたり65円に修正することといたしました。これにより、1株あたり年間配当金予想は前回発表予想より25円増配となる105円となり、前期実績より35円増配となります。

なお、2024年3月期以降の株主還元策につきましては、次期中期経営計画とあわせて発表することを予定しておりますが、当社は、方針作成にあたり、高い資本効率の達成と、配当を中心とした株主還元策による高い総還元性向の維持・継続は重要であると考えております。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上